

* Withコロナの時代、感染症対策のご提案

感染症対策と経済活動を同時に考えなければならない時代、今何をしなければならないのか多くの人々がその答えを探し、挑戦しています。

講演会の会場においても、来場者の陽性の可能性、また、来場する方たちの側は、感染の心配はないのか、と感じ、そして、スタッフのたちも……

目に見えない敵を封じ込めることは、難しいことはわかっています。しかし、できるだけことに挑戦し、少しでも感染の可能性を抑えることをご提案したいと思います。

ご提案内容

コロナ、第3波到来！

一瞬の除菌、抗菌ではなく、継続的な除菌を一人一人が心がけていかなければならない時がやってきました。

アルコールは瞬時の効果はありますが、持続することはありません。また、手荒れなどで悩んでいる方は多くいらっしゃいます。

密になりがちな講演会会場において来場者の一人一人が、感染予防水溶液で感染対策を行うケースが増えてくるのではないのでしょうか？

これらの点を解決する商品が感染症対策商品「フェイン」です。

国内産ホタテと微細水のみを成分とする、水酸化カルシウム水溶液です。

北里大学との共同研究によって商品化された水溶液であり、ウイルス・菌の除菌の効果が証明されています。※別紙水酸化カルシウムは厚生労働省において、食品添加物に認可されています。

この「フェイン」の携帯用30mlボトルを来場者の皆様に配布するというご提案をさせていただきたいと思っております。

ご提案商品

今回ご提案させていただく商品は前ページにもありますが、国内産ホタテと微細水のみを成分とする、水酸化カルシウム水溶液です。商品名は「フェイン」PH12の強アルカリの水溶液で、菌もウイルスも生存できません。しかし、人体には全く問題ない感染症対策の水溶液です。

今回のご提案は、この水溶液「フェイン」の30mlミニボトルに講演会のオリジナルデザインにて作成し、来場者へ配布（販売？）という企画でございます。

一人一人がいつでもどこでも感染症対策をしなければならない今、来場者の皆様に具体的な感染症対策提案を行ってはいかがでしょうか？

下記のようなデザインのサンプルボトルを作ってみました。



ボトルサイズ
高さ80×直径27mm
容量30ml

このQRコードから、講演の内容、次回公演の告知など様々なことが可能です。YouTubeも可能です。

フェインは、アルコール、次亜塩素酸、界面活性など未使用、化学物質を一切含まない、新しい感染予防水溶液です。

厳選された青森県産のホタテの貝殻を約1000度の高温で焼成し、微粉末化したパウダーに微細水を加えた自然由来の感染予防水溶液です。成分はこれだけです。だから、安心安全なのです。

北里大学との共同研究により生まれた商品であり、菌・ウイルスを除菌することは実証されています。右横資料参照

この水溶液「フェイン」はPH12のアルカリ領域を作り出し、そのアルカリパワーがウイルス・菌を抑制します。

食品添加物に認可されており、食品にも使用されている成分で、口に入っても安全です。

国内産です。

天然抗菌剤を生成した感染予防水溶液 天然素材でウイルス対策、新衛生習慣 「フェイン」で感染しない、させない

【導入実績】

下呂温泉観光協会にて、
お客様に配布

下呂温泉では、感染症対策としてアルコールではなく、私共のフェインをお選びいただきました。

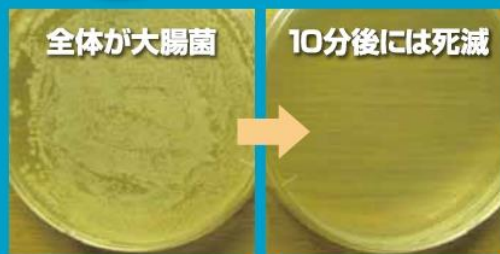


検証 効果例

細菌に対する除菌効果試験

試験(フェイン)品を試験管に0.9ml分取

試験菌液0.1mlを接種しボルテックスミキサーで攪拌、試料液とする
所定時間は5分とする 試料液の菌数測定



2020.3.19

(一財)北里環境科学センター

ウイルス不活化効果

評価ウイルス

ネココロナウイルス (Feline enteric coronavirus, WSU 79-1683株)

試験品	作用時間		感染価 対数減少値	減少率 (%)
	0(初期)	1分間		
対照	8.9E+05	8.9E+05	0.0	-
製品A		4.0E+03	2.3	99.4

※製品A「フェイン水溶液」

試験ウイルス液の感染価：3.3E+07 TCID50/ml

感染価単位：TCID50/ml

感染価対数減少値：log10(初期感染価/作用時間後の感染価)

減少率の計算式：(1-1/10^{感染価対数減少値})×10

菌類を除菌する事を実証済み

写真上:大腸菌と緑膿菌を「フェイン」が菌を死滅させた事を実証しています。除菌効果試験結果から「フェイン」は、ノンアルコールでありながらも高い除菌の効果があることが分かる。

ネココロナウイルス減少率99.4%

左:昨今行ったネココロナウイルスの試験において1分間で「減少率99.4%」と言う優秀な結果で、「フェイン」が不活性化を実証していることが分かります。

「学校法人北里研究所」とFID株式会社で共同研究開発細菌試験・抗菌試験を行い商品化した「フェイン」